



残暑お見舞い 申し上げます

佐賀県保険医新聞

発行所
佐賀県保険医協会
佐賀市駅前中央1-9-45
(三井生命ビル4F)
電話 0952(29)1933
FAX 0952(23)5218
HP <http://saga-doc.jp>
hoken-i@star.saganet.ne.jp
購読料 1部 200円
送料込 年間2,400円
(会員の購読料は会費に含まれています)

緑の棚田と青い海

撮影場所：唐津にある「花と冒険の島」近くの肥前町満越地区の棚田

緑の棚田と伊万里湾に浮かぶ小島が風光明媚な景色を作り出しています。(鹿島市 掛園 浩)

協会会員数

医科 647人
歯科 336人
合計 983人
(6月30日現在)

主な記事

- ・第33回定期総会……………2頁
- ・2014～15年度保団連第1回代議員会……………3面
- ・わたしの主張「共に学ぶ楽しさ」……………3面
- ・第44回保団連夏季セミナー……………4～5面
- ・労務管理「定着率向上のための休日の設定方法」……………8面



第33回定期総会を迎えて

会長 藤戸 好典

4月から消費税が8%に増税されました。増収分はすべて医療・介護・年金・子育て等の社会保障充実に使うとの公約はどこに飛んで行ったしまったのか、自己負担増を求める医療・介護・年金政策ばかりがめぐる押しでありました。超高齢化社会の到来、生産年齢人口の減少、非正規労働者の増加等により、これからの増大する社会保障費用負担をどうするかは日本国全体にとって大変重大な問題であり、2025年問題として近未来を日本がいかに乗り越えていくかは、世界中が注目しているところでもあります。

で最も危険な原発の一つである玄海原子力発電所がひとたび事故を起こせば、皆さまの『ふるさと』が無くなってしまうのであります。安心安全で再生可能な自然エネルギーもほとんど利用可能になっており、原発再稼働なしでも十分に電力は足りています。解決策が全く存在しない使用済みの核燃料問題をも抱えた原発の再稼働に対しては、これからの子供たちのためにもぜひ反対していきたいと思っております。

消費税を増税しておきながら、高額所得者の所得税や大企業優遇の法人税減税を行ったのは、その減収分の穴埋めだけに消費税が利用されてしまっているのではないのでしょうか。高額所得者には十分な底能負担を求め、企業の社会的責任として十分な法人税を納税していただき、莫大な内部留保を社会に還元すべきであります。

最後にりましたが、日ごろより会員の皆さま方には保険医協会の活動にご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。おかげさまで今年度の会員数は昨年度より24名増加し過去最高の983名で総会を迎えることができました。保険医の権利と経営を守り、地域住民の医療改善活動に全力を傾け、同時に、全国的な運動も可能な限り行ってまいりました。これからの国民の健康と生命を預かる医師・歯科医師の団体にふさわしい活動を進めてまいりたいと思っておりますので、今後とも皆さまのご理解と協力をよろしくお願い申し上げます。

2014年7月26日



曙

厚労省が先ごろ発表した国民生活基礎調査によると、同居家族が主に介護を担っている世帯のうち介護する側される側共に65歳以上という世帯(老老介護世帯)が51.2%で、3年前から5.3%も増えているとのこと。団塊の世代が75歳以上になる2025年には65歳以上の人口は3650万人となり、人口の3割を老人が占める計算になるわけだが、その時、老老介護世帯が何割になっているかを考えただけでも背筋が寒くなる▼15年間認知症の妻を在宅介護している75歳の老夫が、老妻を入所させようと特老の空きを待つも何年も空かずに、揚句の果てにノイローゼになり妻を殺めてしまったという記事を見て胸が締め付けられたのは最近のことであった▼つと悲しかった事例は、徘徊していた認知症の男性が鉄道線路に入って死亡した鉄道事故で、85歳の妻に見守りの監督責任があると命じた判決であった。裁判官に「どこまで責任追及すれば気が済むのか」と怒鳴りたい心境になったのは、小生だけだろうか▼思えば小生も老老介護の歳になり「明日はわが身」で、「政治の貧困」故に「弱きを挫く」ことになっていくのを座して見ておくわけにはいかない。「平等互恵」の思いやりの気持ちを持ったあの日本人は、何処に行ってしまったのだろうか。(租医銀太)